

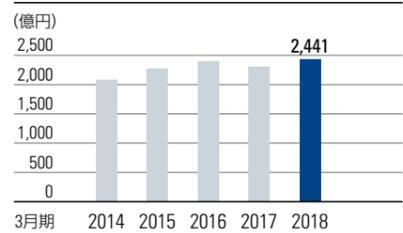
# 財務・非財務ハイライト

太陽誘電株式会社及び連結子会社・関連会社  
3月31日に終了した各事業年度及び3月31日現在

財務・非財務ハイライトについては、数値一式をエクセルデータでダウンロードできます [財務・非財務ハイライト\[14KB\]](#)  
損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フローなど詳しい [データはこちら](#)

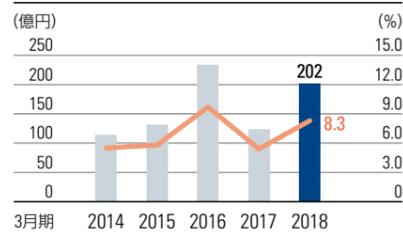
## [ 財務 ]

売上高 **2,441** 億円  
前期比 5.8% up ↗



スマートフォンを中心とする通信機器向けが伸長し、注力すべき市場と定義する自動車、産業機器向けが着実に伸びていることから、右肩上がりのトレンドとなっています。

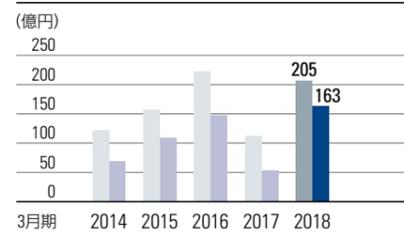
営業利益 **202** 億円  
63.3% up ↗



生産効率の改善など収益性向上への取り組みを続けていますが、為替レート等の影響によって、利益額、利益率とも増減する状況となっています。

■ 営業利益 (左軸)  
■ 営業利益率 (右軸)

経常利益 **205** 億円  
83.5% up ↗

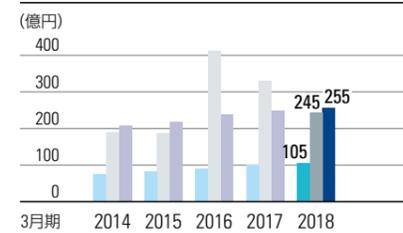


営業利益の増減トレンドと一致しています。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期は事業構造改善費用が発生しましたが、当期は発生せず大きく改善しました。

親会社株主に帰属する当期純利益 **163** 億円  
201.3% up ↗

■ 経常利益  
■ 親会社株主に帰属する当期純利益

研究開発費 **105** 億円  
5.7% up ↗



5G時代の到来を目前にしており、さらに、自動車向けなどの需要も増加していることから積極的な設備投資を継続すると同時に、新事業・新商品開発を活性化させる研究開発投資を拡大しています。

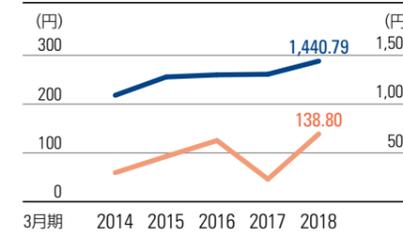
設備投資額 **245** 億円  
26.0% down ↘

■ 研究開発費 ■ 設備投資額

減価償却費 **255** 億円  
2.7% up ↗

■ 減価償却費

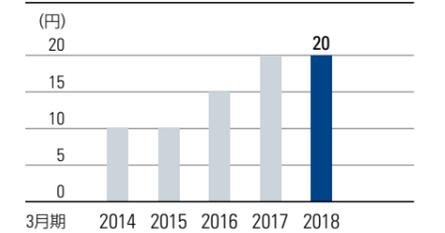
1株当たり純資産 (BPS) **1,440.79** 円



親会社株主に帰属する当期純利益、純資産ともに増加傾向にあることから、BPS、EPSともに増加トレンドとなっています。

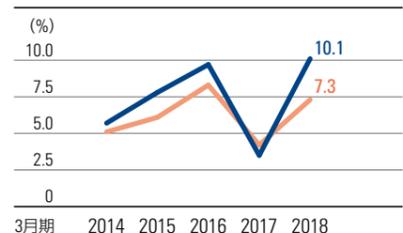
■ EPS (左軸)  
■ BPS (右軸)

1株当たり配当金 **20** 円



経営理念の一つに「株主に対する配当責任」を掲げており、収益体質強化や財務体質改善と同時に、自己株式の取得等を含めた総還元性向30%を中期目標として充実させていく方針です。

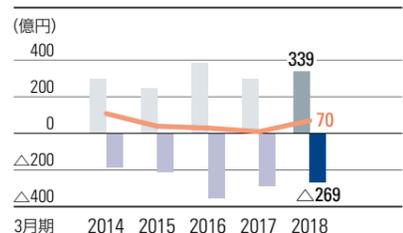
自己資本当期純利益率 (ROE) **10.1** %  
6.6pt up ↗



2021年3月期までにROE10%以上を継続的に目指す中期計画を立てており、自動車、産業機器などの注力すべき市場での拡大と生産性改善活動で収益性向上を図っています。

■ ROA  
■ ROE

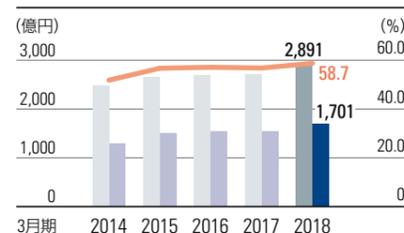
営業活動によるキャッシュ・フロー **339** 億円



利益水準の向上により営業CFは増加傾向にあります。一方、設備投資によって固定資産取得による支出が増え、投資CFの支出も続いています。

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー  
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー  
■ フリー・キャッシュ・フロー

総資産 **2,891** 億円  
6.6% up ↗

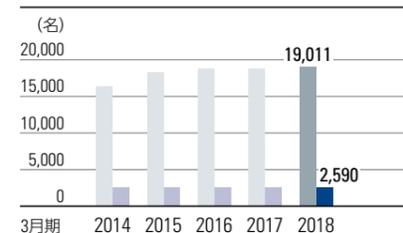


旺盛な需要の下、規模の拡大が続き、総資産が増加しています。一方で有利子負債の増加を抑制した結果、自己資本比率は50%台後半を維持しています。

■ 総資産 (左軸)  
■ 純資産 (左軸)  
■ 自己資本比率 (右軸)

## [ 非財務 ]

従業員数 (連結) **19,011** 名  
1.4% up ↗

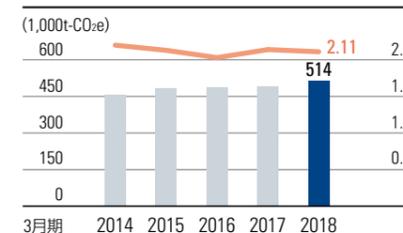


生産能力増強の影響により、従業員数は増加しています。ただし、生産の効率化を推進することで、能力の伸びに比べ、従業員数の増加は微増にとどめています。

■ 従業員数 [連結]  
■ 従業員数 [単体]

従業員数 (単体) **2,590** 名  
0.2% up ↗

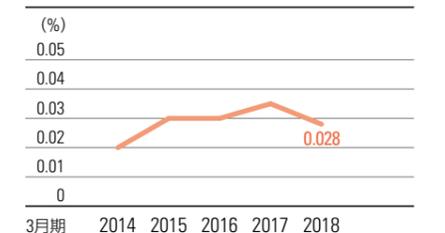
温室効果ガス (GHG) 排出量 **514** t-CO<sub>2</sub>e  
4.3% up ↗



生産性の増加により、GHG排出量は右肩上がりの傾向にあります。ただし、主力製品を中心とした生産工程の見直しによって一層生産効率を向上させることで、売上高原単位は改善傾向にあります。

■ 温室効果ガス (GHG) 排出量 (左軸)  
■ GHG 排出 (売上高原単位) (右軸)

傷病率 **0.028** %  
0.007pt down ↘



全職場でリスクアセスメントを行い労働災害発生・労働疾病発生の対策を進めており、中期目標の傷病率0.040%未満を継続することができています。